

岩手県感染症週報

平成15年第11週（3月10日～3月16日）

岩手県結核 感染症情報センター

第11週の概要

1類感染症

- 患者発生の報告はありませんでした。

3類感染症

- 患者発生の報告はありませんでした。

2類感染症

- 患者発生の報告はありませんでした。

4類感染症（全数把握対象疾患）

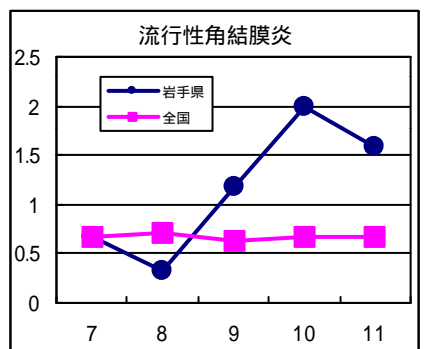
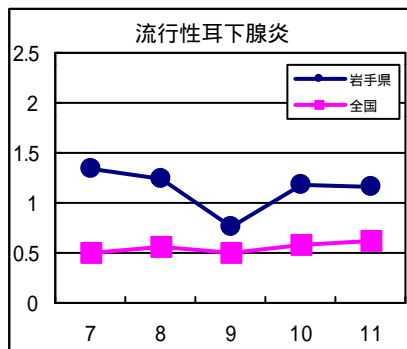
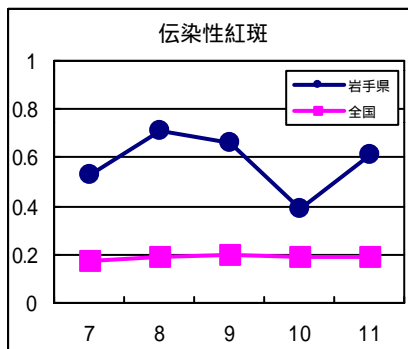
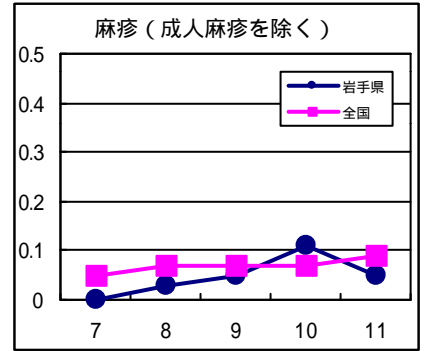
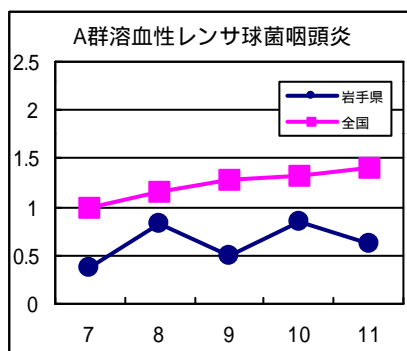
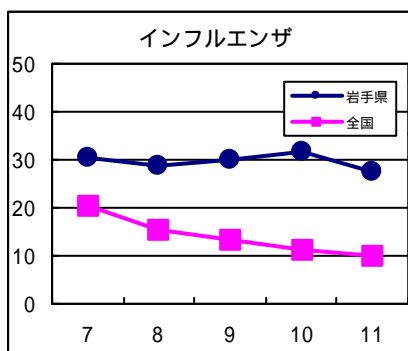
- 盛岡地区から急性ウイルス性肝炎の報告が1例ありました。患者は30代の男性でA型肝炎ウイルスによる発症です。

4類感染症（定点把握対象疾患）

- インフルエンザは今シーズン2度目の流行のピークを越えたものとみられます。この週の県内の定点当たり患者数は、前週の31.6から27.6となりました。この2度目の流行は、主にB型インフルエンザウイルスによるものとみられ、20歳代以降の年代と比べ、若年層により患者数が多くなっています。
この週、県内でインフルエンザ流行警報（定点当たり患者数30以上）が発令されているのは先週より二地区減り、花巻、北上、久慈の三地区となりました。
- 久慈地区で流行が続いている流行性角結膜炎は、今週は定点当たり患者数が9.0と減少しました。流行性角結膜炎は感染力が強いので、依然として注意が必要です。
- 北上、釜石地区で流行が続いている伝染性紅斑は他の地区でも患者が増えてきています。
- 麻疹は一関地区で引き続き患者の発生が続いているので、注意が必要です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		7	8	9	10	11	
インフルエンザ	岩手県	30.5	28.79	30.05	31.55	27.63	↘
	全国	20.41	15.56	13.26	11.14	9.84	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0.03	0	0	0	→
	全国	0.06	0.08	0.06	0.08	0.09	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.37	0.82	0.5	0.84	0.61	→
	全国	1	1.16	1.28	1.32	1.4	
感染性胃腸炎	岩手県	4.87	5.39	4.47	3.87	3.95	→
	全国	8.53	9.57	9.81	9.67	9.91	
水痘	岩手県	0.97	0.92	1.03	1	1.29	→
	全国	1.72	1.81	1.79	1.85	1.83	
手足口病	岩手県	0.05	0	0.05	0.03	0	→
	全国	0.09	0.08	0.1	0.11	0.15	
伝染性紅斑	岩手県	0.53	0.71	0.66	0.39	0.61	↗
	全国	0.17	0.19	0.2	0.19	0.19	
突発性発疹	岩手県	0.55	0.45	0.58	0.34	0.58	→
	全国	0.59	0.64	0.64	0.63	0.68	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0.03	0.03	0.03	0	0.05	→
	全国	0.02	0.01	0.02	0.02	0.03	
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.03	0	0.03	0	→
	全国	0.03	0.03	0.02	0.03	0.04	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0.03	0.05	0.11	0.05	→
	全国	0.05	0.07	0.07	0.07	0.09	
流行性耳下腺炎	岩手県	1.34	1.24	0.76	1.18	1.16	→
	全国	0.51	0.56	0.51	0.58	0.62	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	0.67	0.33	1.17	2	1.58	↘
	全国	0.67	0.71	0.62	0.67	0.67	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.01	0.01	0.01	0	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.01	0.01	0.02	0.02	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0	0.1	0.3	0.25	→
	全国	0.19	0.15	0.17	0.16	0.23	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.02	0.01	0	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.03	0.02	0.02	0.03	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 7	8	9	10	11	累計	11	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	4
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	6	9	109
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	15
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	5
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	6	93
四類感染症	アメーバ赤痢	0	0	1	0	0	1	8	107
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	1	0	0	0	1	0	7
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	1	1	0	0	1	3	10	181
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	23
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	21
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	10	166
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	11
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	2	7
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	1	28
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	1	92
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	11
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	13
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	18
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	1	33	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

「ウエストナイル熱」が平成14年11月から新たに四類感染症に指定されました。

今注目の感染症**重症急性呼吸器症候群（SARS）**

アジアを中心に患者が発生している原因不明の重症呼吸器症候群（SARS）について

WHOは、1人を殺し、香港とベトナムの医療関係者約60人に感染した非常に感染力が強い呼吸器疾患について世界中に警告を発しました。健康当局はこの2つの地域で起きた集団発生について、いかなる関連も見出していません。しかし、専門家は香港で起きた集団発生は、未知のウイルスが急速に広がったことが原因であると考えています。

「患者から感染したことは間違いありません。恐らく、クシャミなどのエアロゾルを介して人から人へと感染するようです。」と、香港でこのウイルスの治療に従事する医師団の1人John Tamさんは語りました。「非常に速い勢いで、多くの人々に感染が広がり、そして患者の容体は非常に速く悪化します。」と、Tamさんは語りました。上海と香港を訪れた直後、重症の呼吸器障害を発症し、ハノイから飛行機で運ばれてきたアメリカのビジネスマンは、香港病院で木曜日に死亡したとWHOは語りました。彼の入院に続き、ハノイ病院の職員約20名が同様の症状を呈し、数名が肺炎を発症し、急性呼吸障害を起こしたとWHOは語りました。ハノイの患者の何名かは危篤状態が続いています。その病院の従業員によると、病院は消毒のため来週まで閉鎖されます。

香港ではさらに多くの医療関係者がインフルエンザ様の症状を呈しています。木曜日までに38人の医療関係者が入院し、そのうち24人が肺炎の症状を呈しました。香港のこれらの患者はアメリカ人と全く接触していません。24人のうち2名は重症です。

中国の南広東省では2月中旬に異型肺炎の集団発生があり、305人が発病し、5人が亡くなりました。広東省の患者とハノイや香港の患者との関連については不明です。

15日、WHOは重症急性呼吸不全（SARS）が世界中に広がっていると警告しました。疑わしい患者は150人以上報告されており、WHOの長官は
“ This syndrome, SARS, is now a worldwide health threat, ”
「この症候群、SARSは今や世界的な健康脅威になっている」
“ The world needs to work together to find its cause, cure the sick, and stop its spread.”
「世界は協力して原因、治療方法、感染防止策を探す必要がある。」
と述べています。

以上3月18日までの公衆衛生ネットワークMLから転載

3月19日午前までに日本では厚生労働省に3例の疑い例の報告がありました。うち2名は回復しており、家族等に発症者はいません。その他の1名は現在医療機関で受診中（症状は軽快）です。

感染の拡大状況は、WHOの3月18日の発表によると、ドイツ、カナダ、シンガポール、中国・香港、台湾、タイ、ベトナム、スロベニア、英国の9か国・地域で、感染を疑われる患者が計219人に達しました。患者が多いのは香港123人、ベトナム57人、シンガポール23人など。ロイター通信などによると、香港ではSARSとみられる肺炎でさらに1人が死亡、米国では9人が感染を疑われています。

これらの急性肺炎について、ドイツの患者から、はしかの仲間のパラミクソウイルスが見つかったことがわかりました。香港でも、複数の患者からよく似たウイルスを見つけたとの報道がありました。これが原因かどうか詳しい検査が進められています。

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型ウイルスを8例検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からA群ロタウイルスを2例検出しました。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の措置施設数は、3月17日までに164施設となりました。

措置施設等の累計（3/17まで）

	岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
施設数	164	34	5	6	10	37	16	14	12	20	10

医療機関からの情報

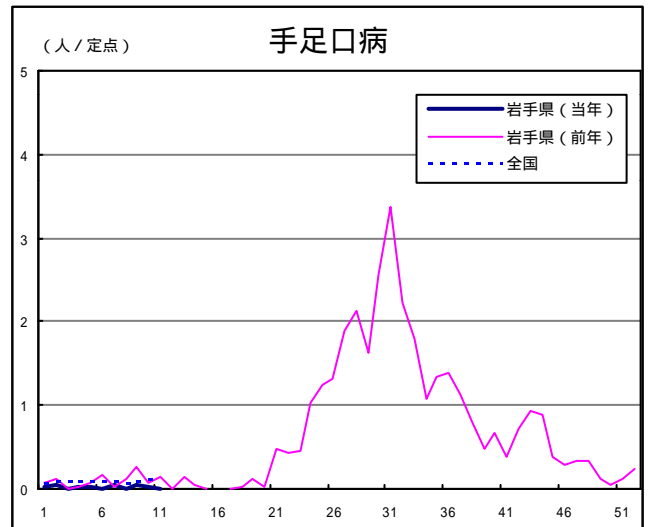
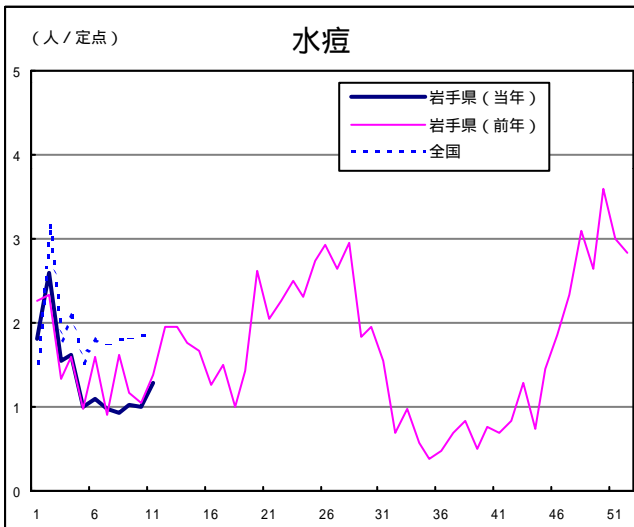
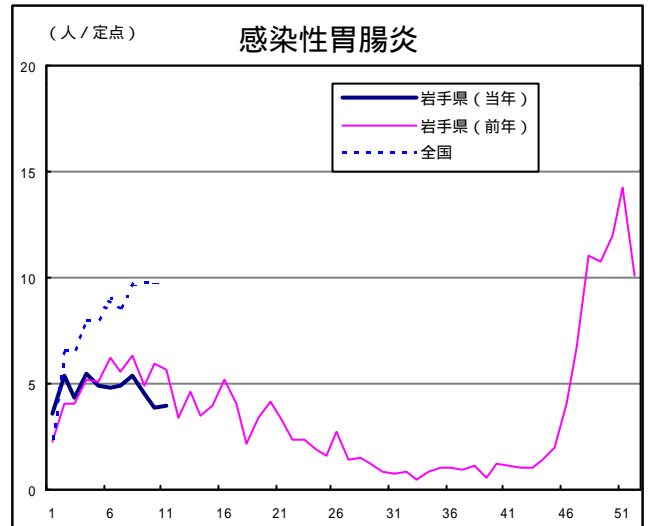
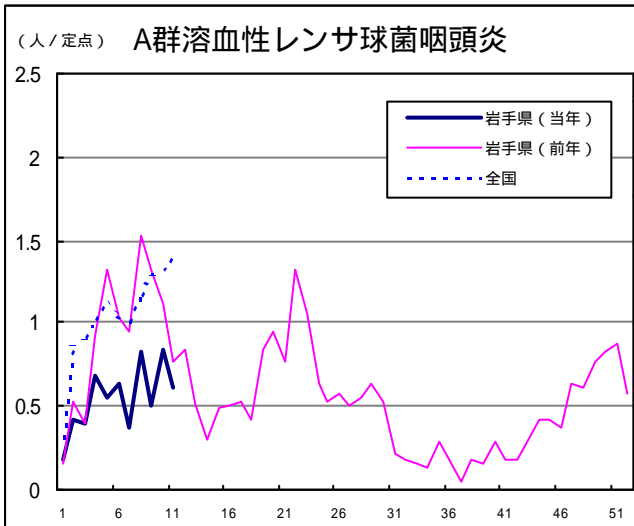
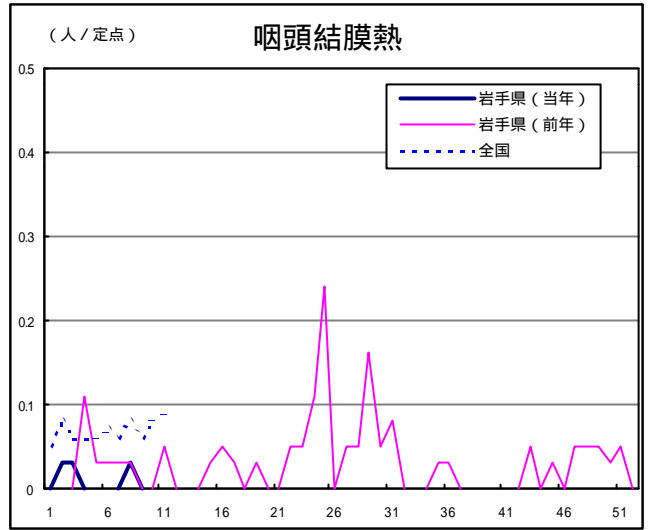
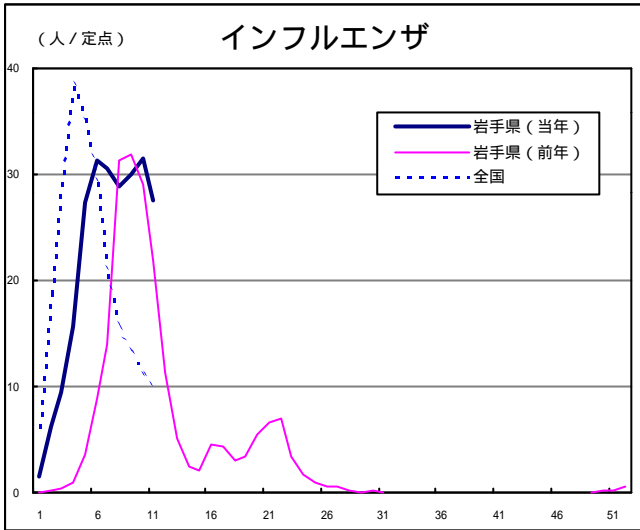
医療機関からの情報はここに掲載します。

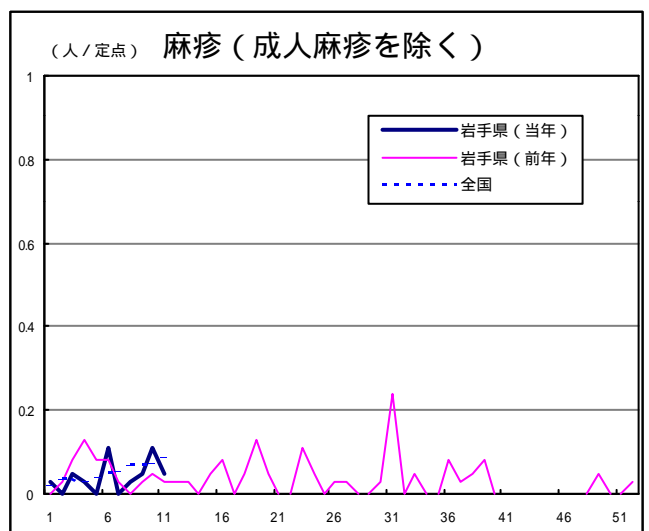
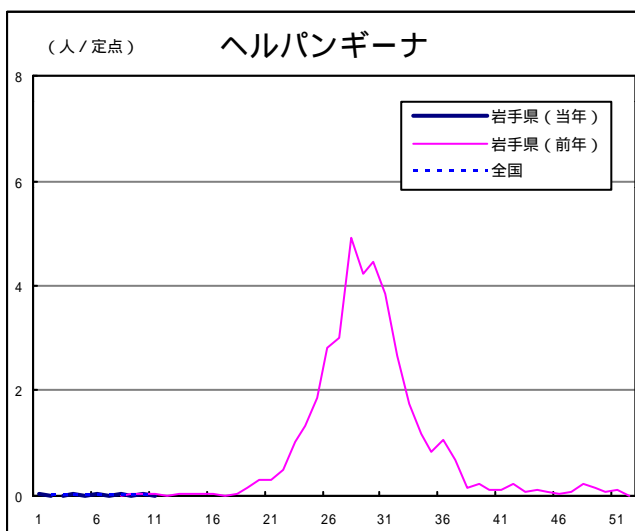
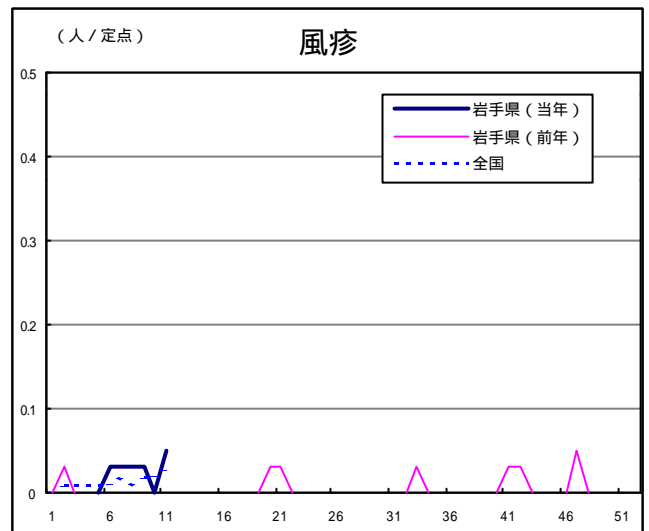
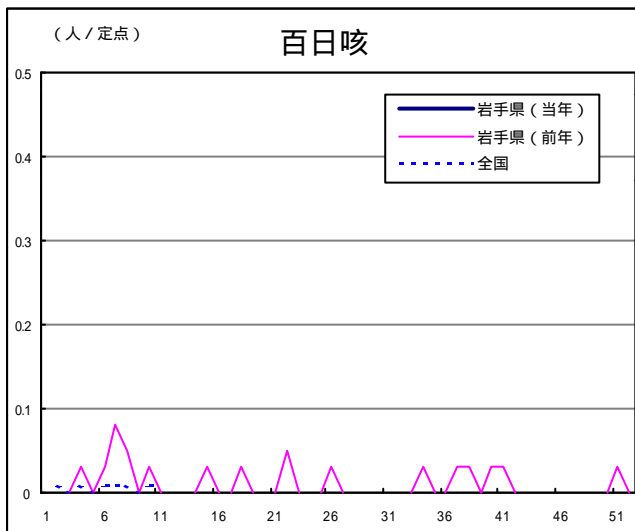
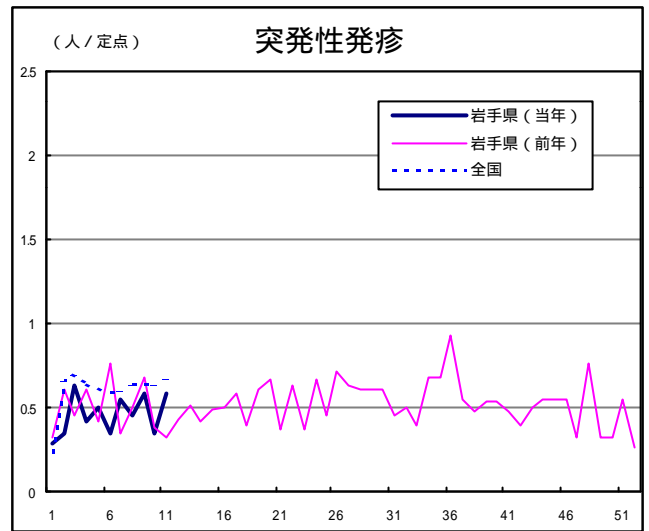
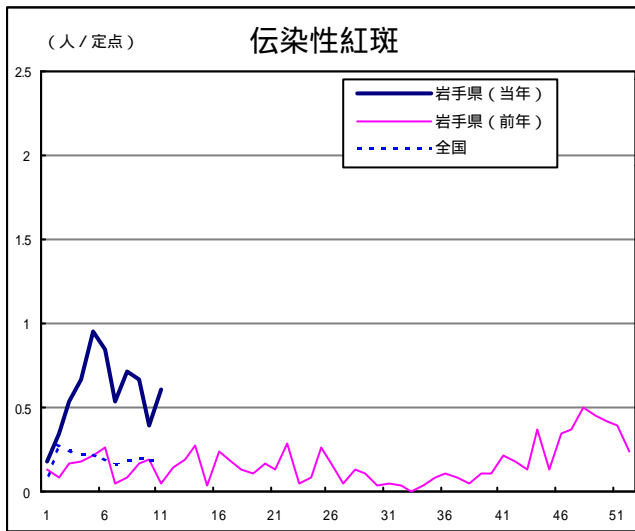
Q & A

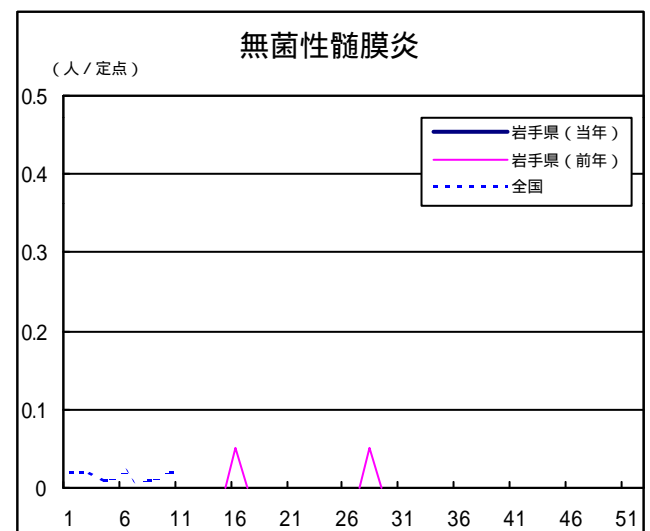
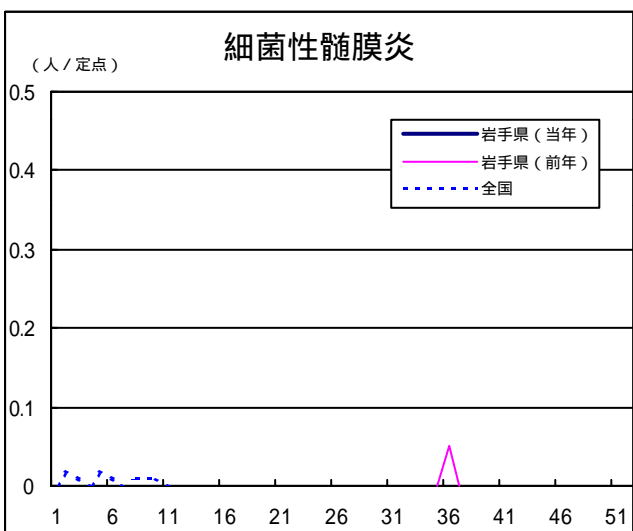
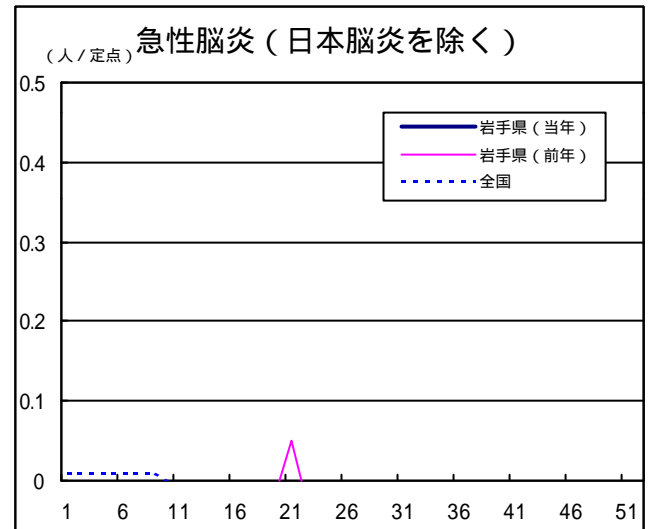
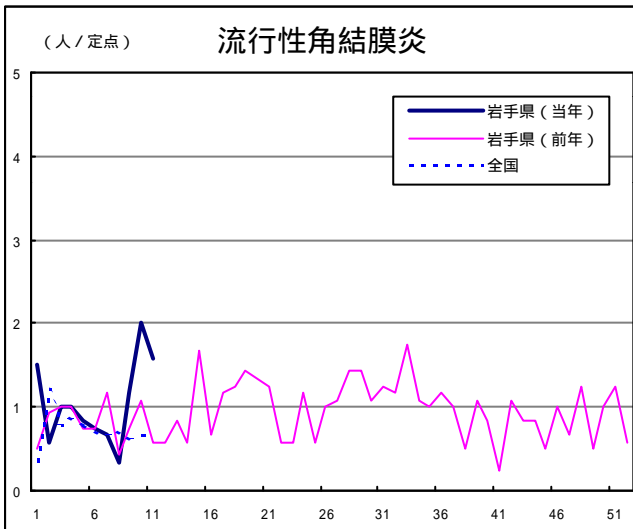
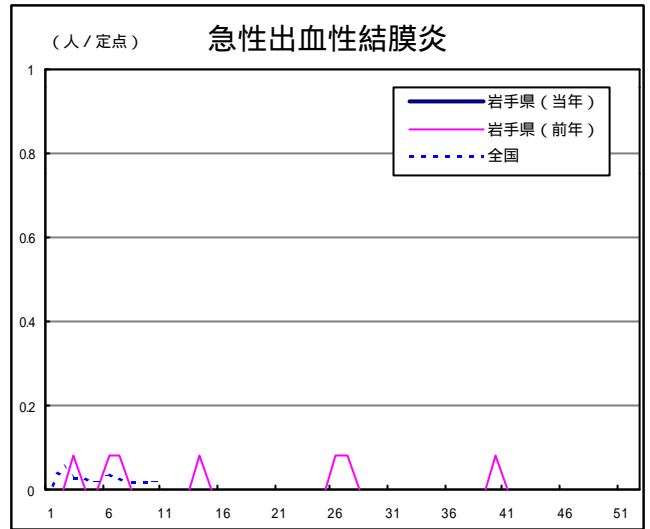
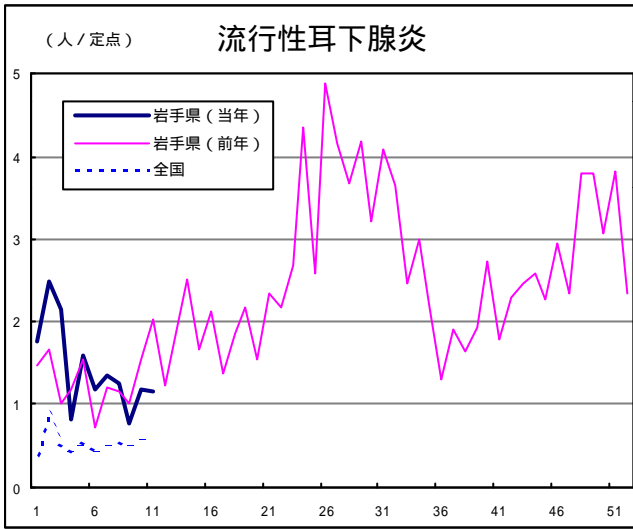
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

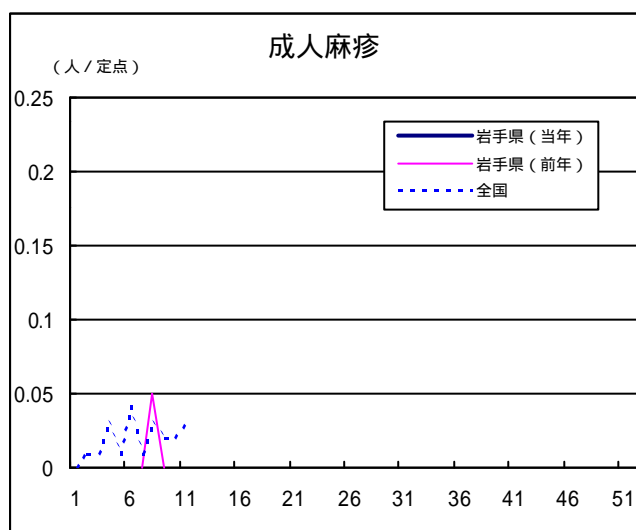
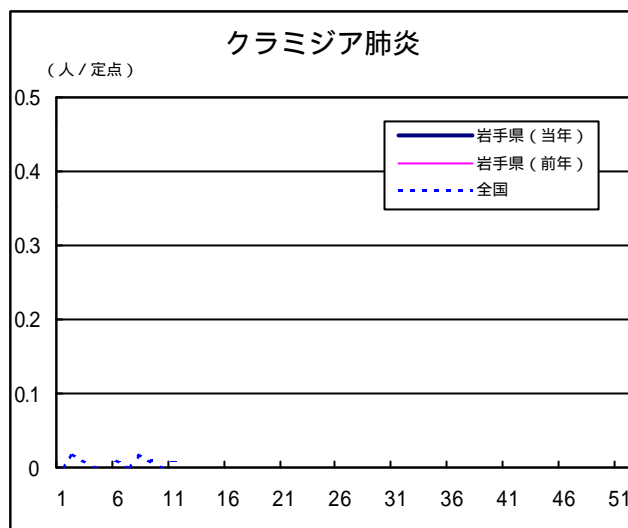
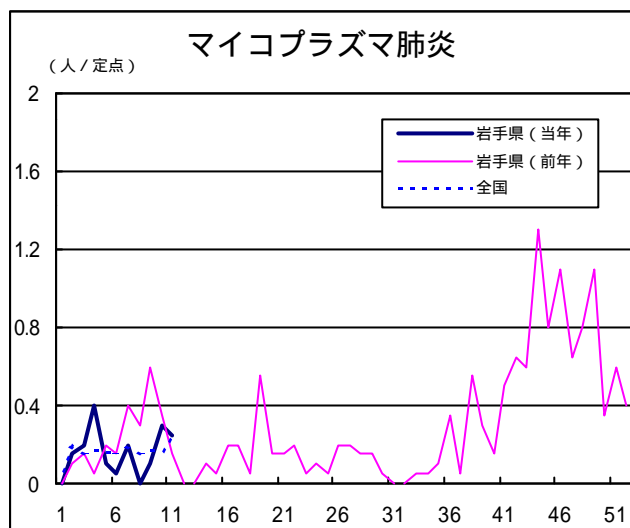
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」の配信を始めました。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第11週 平成15年3月21日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>